

NPO 法人

環境カウンセラー会

ひょうご

発行人
仁保 めぐみ

〒660-0892
兵庫県尼崎市
東難波町 2-1-13
<http://ech28.org>
✉ goiken28@gmail.com

プラスチック資源循環促進法とは

令和4年4月施行

プラスチック使用製品設計指針と認定制度とは?

プラスチック資源循環促進法(プラスチック新法/プラ新法)とは、環境問題に対応し、プラスチックの資源循環を目的とした法律。プラ新法では、プラスチックゴミについて「捨てることを前提としない経済活動を実施しよう」という基本方針が策定されており、その基本方針の策定に伴い、同法では「3R+Renewable」の促進が掲げられている。



事業者・自治体に求められる5つの取り組み

- ①「プラスチック使用製品設計指針と認定制度」
- ②「製造・販売事業者等による自主回収・再資源化」
- ③「特定プラスチック使用製品の使用の合理化」
- ④「排出事業者による排出の抑制・再資源化等」
- ⑤「市区町村によるプラスチック使用製品廃棄物の分別収集・再商品化」

プラスチックの資源循環を促進するためにはプラスチック使用製品の設計の段階(試作・製造の前段階含む)における 3R+Renewable の取組が不可欠である。具体的には「原材料の種類(工夫)」「代替素材」「再生プラスチックやバイオプラスチックの利用」等の取組を促進することで、あらゆるプラスチック使用製品の製造事業者等が取り組むべき事項及び配慮すべき事項を指針として定めたもの。本指針に則した製品の設計のうち、特に優れた設計を主務大臣が認定する制度を創設。(環境省)

プラスチック資源循環促進法に関する事業者お問い合わせ窓口
TEL:0570-005117(9:00~18:15(土日祝除く)) 受付期間:~2022.09.30まで

①指針の内容(構造)

②指針の内容(材料)

に加え、③製品のライフサイクル評価 ④情報発信及び体制の整備 ⑤関係者との連携 ⑥製品分野ごとの設計の標準化並びに設計のガイドライン等の策定及び遵守が盛り込まれている。



「増やそう」環境カウンセラー

7月~公募開始

プラスチック資源循環促進法はまだまだ社会に定着したものではありません。環境カウンセラーとして、事業者及び市民にどう説き、どう活動うながしていくのか、この法律の今後の動向には注目です。

今まで日本環境協会やオーエムシが担ってきた「環境カウンセラー全国事務局」の業務を、今年、厳正なる審査を経て、「特定非営利活動法人環境カウンセラー全国連合会(以下、「ECTJ」という。))が受注することになりました。この動きは何年も期待されていたことであり、自分たちの組織は自分たちで管理し、国が作った環境カウンセラー制度を守り、活性化していかなければならないといった強い思いが実ったものでもありません。当会も ECTJ に属していることから、積極的にその業務にかかわることになりました。まずはこの7月に公募される「環境カウンセラー申請(受験)」に向け、申請者を増やすべく、みなさまのお力をお借りしたいと思っております。みなさまのまわりで環境活動をされている方がおられましたら、ぜひとも今回の申請に手をあげただけですようお願いいたします。よろしくお願いいたします。

<https://plastic-circulation.env.go.jp/about/pro/seido>

ECU 代表理事 藤本 晴男さん

次の50年をめざして



兵庫県の皆様、今日は。特に、兵庫県環境カウンセラー協会の皆さま方には、仁保会長を始め、いつも大変お世話になっております。この機会をお借りして感謝申し上げます。

私は、兄が神戸に住んでいたため子供の頃から淡路などについて行きました。マイビジネスの関係も有り、兵庫は縁の深い地域です。

特に、環境分野では、兵庫県地球温暖化防止活動推進員の一期生になり、前会長と激論を交わした事が懐かしく思い出されます。

私は機会があつて環境カウンセラー(EOC)になりました。EOCの起源は、地球サミットで、昨年、制度創設25周年を迎えました。

先輩方のご尽力で社会的にも評価され、地方公共団体の審議会・委員会の委員を委嘱され、様々なプロジェクトに取り組んで、些かなりとも社会貢献が出来ました。

しかしながら、平成20年、4,620人のカウンセラーが、29年には、3,500人台になるなど「少子高齢化」が加速し、マイナーな存在になってしまいました。

主な要因は全国事務局が十分に機能していなかったこと。PRもされないために自治体環境課職員もEOCを知らない情けない状況に追いや

れ、民営化も検討されていきました。私は現状を改善するために国会質問等を働きかけ、環境カウンセラー全国連合会幹部の同意を取り付けてこの度、やっと全国事務局の受託に漕ぎ着ける事が出来ました。今後、皆様と一緒にEOC制度再構築に取り組み、次の50周年は社会をリードする憧れのEOCとなる事を期待致しております。

ECU 特別相談役環境教育部門責任者 佐々木 進市さん

全国の環境カウンセラーはSDGs達成のための環境教育「ESD for 2030」への対応を急げ



先日、環境カウンセラー全国連合会(EOC)が今年度の環境カウンセラー全国事務局業務を環境省から受託しました。ご存じのようにEOCは全国の環境カウンセラー団体を会員とする連合組織です。

このEOCが環境カウンセラー個人への対応を担う全国事務局としても機能するということは、EOCが環境カウンセラー全体に関与できる組織になったことを意味します。

このままでは人類の社会は持続不可能である。そうなる前に手を打たなければならぬということ、時代は持続可能な社会の構築に向けて大きく動いています。周知のようにSDGsは2030年を達成年とする1

7の社会変革目標を掲げました。その目標を達成するための手段が「教育」であるというのが、国連総会で採択された「ESD for 2030」成立の背景です。昨年発表された政府の第2期ESD国内実施計画では「ESD for 2030」の専門家として活躍することへの期待が環境カウンセラーに寄せられました。

このような新しい状況、ニーズに全国の環境カウンセラーは対応しなければなりません。そして、今や全国の環境カウンセラーを対象にする団体になったEOCに、この流れを先導していく使命と責任があることは明らかです。また、「ESD for 2030」の専門家として環境カウンセラーが活躍するためにも、環境省と一層協働していかなければなりません。今EOCに求められているのはこれらのことを内外に明確に宣言することだと考えています。

会員のみならず 近況報告

岩野 順子さん (市民)



西宮市の環境パネル展に行ってきました。子どもから大人まで、たくさんの方の環境への取り組みをみてきました。新しい発見もありました。地球・地域のために、できることを増やしていきたいと思いました。

児島 晋さん (市民)



会社の先輩に誘われて、登山を始めました。まずは、2021年12月29日、近場の加西市の加西アルプスに登りました。加西アルプスは標高300mの山で尾根を縦走出来、登山道もしつかりしており、岩場、鎖場、馬の背、吊り橋等があり、変化に富んでいます。登山時間は4時間程度です。今後も近場の山に行きます。

西田 和生さん (市民)



最近、外出もままならないので、3年前に作ったスピーカーのアップグレードを思い立ち昨日完了した。古いスピーカーは本屋の書棚に並んでいたものを購入した。作った当座は安いものなのにこゝろ、欲には限りがなく新しいものに交換した次第です。

(左は突き板を張り替えた状態。右は塗装して、テレビの両側においた状態)

小山 英一さん (市民)

「コロナ禍の中で」

1) 地元神陵台5丁目自治会長として。(会員200戸余)

15年振りに自治会長、初めての書面総会からスタートし毎月1回の幹事会。ゴミステーション(カラスとの戦い)・防犯灯と防犯カメラ設置・町内交通標識の整備・夏休みラジオ体操の再開・子どもレクリエーションの復活・町内大掃除の実施(100余名の参加)等々、10名の幹事で多忙な1年でした。



自治会活動 子どもゲーム大会

明舞団地の高齢化に伴い兵庫県の支援を受けて標記食堂を開設して18年。食堂は通常の半分の13席に減らしての運営をしてきたが、コロナ禍も3年目となり、消毒・手洗い・検温・アクリル衝立を立ててディスプレイを徹底しての運営の中、従

園 欣彌さん (事業者・市民)

令和3年度は、1月と10月に急性胆管炎にて2度も入院する次第で、



外部活動は全く開店休業という情けない始末でした。介護保険のお世話になり、毎週2回のデイサービスに通い、体調の回復に努めている次第です。環境カウンセラー全国連合会の令和3年度研修会に参加しましたが、膨大な資料の読破に疲れたというのが偽らざるところです。

津田 文男さん (事業者)

SDGs について、中小企業の経営層(社長、取締役等)から環境マネジメントシステムとの関わりを説明してほしいとのご要請を受



講義風景 「課題解決の進め方」

けることが多くなりました。昨年は環境以外の技術系及び生産管理系のテーマも含めると、年間約40件の講演・セミナー講師を元氣(精神的)に務めさせて頂きました。

仁保 めぐみさん (事業者・市民)



香川「父母ヶ浜」

念願の父母ヶ浜に行ってきた。写真がきれいに撮れる時間が決まっている

ので(用で確認できます)、平日でもその時間になるとたくさんの方が。みなさまもベストショットを撮りに行ってみてください♪(うどん巡りもね)

菅原 啓高さん (事業者)

寅年生まれです。今年、七周目の寅年を迎えました。私の孫の世代が社会の第一線で活躍しています。



若者を応援しよう。✦ エールを送ろう。✦ これが今の心境です。環境カウンセラーとしては月一回程度活動しています。

講演(主にオンライン)、執筆、子どもたちとの環境科学実験を若い人への応援の気持ちでやっています。

後藤 安子さん (市民)



私は姫路市の形に住まいしている。形的形町は瀬戸内海の播磨灘沿岸に位置し、海と山に囲まれた自然環境の豊富な地区である。小さい頃から海に親しみ、瀬戸内海の環境に関心を持っていった。

現在では的形小学校の生徒たち(3年生〜6年生)が授業の一部・自然学習として山から海へ歩いて、海岸地区の歴史や自然環境を勉強している。私も生徒たちとともに参加して、海の自然環境を調査している。

武本 佳弥さん (事業者)



皆さん、ご無沙汰しております。私の最近の活動は排出事業者側からのSDGsやカーボンニュートラルをテーマとした講演

や廃棄物のリサイクルや適正処理に関する研修の依頼が増えてきている他、愛知県の製造業者の経営者たちと中小企業視点のサーキュラーエコノミーの仕組みづくりに取り組んでいます。また廃棄物業界において女性のための全国組織立ち上げに向けて組織運営の支援をさせていただいております。また、環境新聞でのコラムは、現在は廃棄物処理業界の人材育成をテーマに連載9年目となりました。

成田 勝彦さん (事業者)

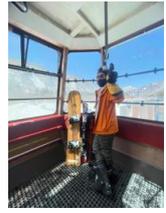
いつも落ち着きがない 但馬の成田の近況

昨年の後半から、結構、病院にお世話になりました。

8月からの原因不明の倦怠感を新型コロナウイルスによる運動不足と思いついていました。しかし、9月からの発熱で、診察を受けると胆石症による急性胆のう炎との診断で開腹手術を受けました。結局、肝膿瘍を合併していました。

詳しくは https://naritakatshiko.com/?p=169 をご覧くださる

術後の経過はよく、趣味のスキーも何



度がいきましました。本年4月より、神崎郡神河町に転動しました。赴任するまで、神河町が播磨風土

記にも記載されているような神代よ



神河町は、自転車によるまちづくりにも取り組んでおり、自分自身のライフワークの興味とも重なり意気揚々と町に慣れながら仕事をしています。が、5月18日から再度、発熱。ガン●今度もCOVID



19を疑いました。診断の結果、肝膿瘍の再発、20日よりドレナージで排膿治療のため入院中です(一か月程度の入院になるとのこと)。

新入会員 一紹介

別所 武さん (市民)



住所：兵庫県姫路市 趣味：山登り、バイク、サツカー、子守り、ピアノ、謡曲、絵を描く事、神社仏閣巡り

環境カウンセラーになった理由：環境

についての新しい情報と、環境屋の仲間が欲しかったから これからの活動：環境にまつわる正しい情報を広く発信していきたい 近況：月に一回、ひょうご企業家の森参画の「虹の森」で森林整備ボランティアを行っています。只今、整備した森を上から眺めることができる 展望デッキを間伐材と人力で建築中です。 環境社内報「虹の森通信」を毎月執筆して虹枝のHPにアップしております。虹枝【検索】で虹枝トップページ一番右の「環境・社会」タグをクリックして、一番下にスクロールすればあります。読んでいただけるとうれしいです。 メッセージ：皆さんと早く会って、交友を深めることができたら嬉しいな。年取ってから子供ができたので現在子供と遊ぶのが最大の楽しみです。仕事は自営業で融通が利きますのでお手伝いができるかも。 よろしくお願いたします。 登録分野：生態系・生物多様性、地球温暖化、3R他



環境社内報「虹の森通信」を毎月執筆して虹枝のHPにアップしております。虹枝【検索】で虹枝トップページ一番右の「環境・社会」タグをクリックして、一番下にスクロールすればあります。読んでいただけるとうれしいです。

山口 玉緒さん(事業者)



登録分野：消費生活・衣食住・3R 環境カウンセラーになった理由：環境問題に近い位置にある廃棄物業界の一員とし

て、市民や企業のゴミのお困りごとを通して環境と未来に良いことが出来たらいいなと思った。 これからの活動：廃棄物を通して環境問題を一緒に楽しく考える・・・ そんな活動をしていきたい 趣味：好きなもの・・・ 着物、美術、鑑賞、SNSでのコミュニケーション、グルメ、お酒、ドライブ メッセージ：四季折々の表情豊かな自然をより良い形で未来に残す活動を一緒にしていきたいと思「環境カウンセラー会ひょうご」に参加させていただきます。ざつくばらんで相談しやすい、そんな環境カウンセラー目指して頑張っていきたいと思いたします。どうぞよろしくお願いたします。



趣味：好きなもの・・・ 着物、美術、鑑賞、SNSでのコミュニケーション、グルメ、お酒、ドライブ

野口 竜夫さん(市民) 「もともと身近に環境ソリューション」



兵庫支部の皆様、はじめまして！ 令和3年度の環境カウンセラーに申請して合格したばかりのヒヨッコ、野口竜夫と申します。課題論文は、大阪湾の生きもの観察会や海洋プラスチックごみ問題について考えるプロジェクトチームでの活動から、生物多様性、自然環境保全の大切さ、人の環境問題への意識を高めることの

重要さを切り口に書きました。 表題の「環境ソリューション」は、私的の「業界では、環境問題を解決するための製品やサービスのことを指します。・・・と言われても、何だかさっぱり分からないですよ？環境問題と「分野とは、うまく活用すればとても相性がいいはずで、環境ソリューションもシンプルに『環境問題の解決(策)』でよいと思うのですが、なぜか小難しくなり、ギャップが生じているように思います。 このギャップを少しでもなくし、環境問題に取り組みうとしてくれる人たちへの助言や、ヒトとヒト、ヒトとモノとを繋いでいけるカウンセラーになっていきたい・・・と思ひます。 《編集後記》 久しぶりの広報誌に原稿をお寄せくださりありがとうございます。 新しい会員さまも3名も入ってくださり、これからの活動が楽しみです。みなさまよろしくお願ひします。 先にも書きました通り、令和4年度は「環境カウンセラー全国事務局」を落札したことで、これを機に、受験者増等「環境カウンセラー」のテコ入れを急ピッチでおこなうことが決定、その担当を私、仁保(全国理事兼務)が任命されました。ひょうごでは、現在、当会副理事長の武本さんがYouTubeのチャンネルを、新会員の山口さんがTwitterを開発したなど、幅広い年齢層にもPRできるSNSの整備をすすめてくださっています。このままでは環境省の認定からはずれ、民間に移管されるかもしれない環境カウンセラー。「ひょうご」に託された環境カウンセラーの未来。みなさまお力添えお願ひします。 【理事長 仁保】